

松山空港の魅力向上等に係る調査の結果について

1 調査目的

松山空港は「愛媛県の空の玄関口」として来県者などに対し、愛媛県らしさのある魅力があふれ利用しやすい施設でなければならず、令和6年春には国際線旅客ビルの工事が完了し空港施設が拡張され、空港施設の利便性や魅力をさらに高めていくことが求められていることから、松山空港の魅力や利便性向上について県民の意向を幅広く取り入れるためのアンケート調査を行った。

2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

3 調査期間

令和5年9月12日（火）～ 9月19日（火）

4 回答者数

400人（18～79歳の県内在住者）

5 概要

【松山空港の現状】

- ・松山空港を利用する際のメインの交通手段としては、上位が「自家用車（71.8%）」、「リムジンバス（14.8%）」、「路線バス（7.8%）」となっており、7割以上が空港までの移動を自家用車で行うとの結果であった。
- ・松山空港以外の空港利用状況としては、利用したことが「ある」と答えた方が30%であり、その多くが東予地方の県内在住者であった。
- ・松山空港のHPの閲覧状況については、「見たことが無い」の回答が76.8%であり、県内在住者の閲覧状況は非常に低い結果であった。
なお、HPで発信した方が良い情報としては、「旅行に関する割引・キャンペーン（57.3%）」が最も多く、次いで「乗継利用の時刻表や料金（38.3%）」、「就航先のモデルコース（36.5%）」、「空港のイベント・キャンペーン情報（33.8%）」であった。

【松山空港の魅力向上】

- ・松山空港ならではのPRポイントとしては、「蛇口みかんジュース（62.0%）」、「空港（市内）へのアクセス（25.5%）」が上位を占めており、航空機利用以外で松山空港を訪れてもらうためには、「日用品やアウトレット店等の商業施設の充実（42.3%）」、「空港施設を活用したイベントの定期的な開催（15.8%）」であった。
- ・松山空港の出発・到着ロビー等に記憶に残る愛媛県とするための必要な「みかん化」としては（選択肢から3つ回答）、「おもてなしができるみきゃん型ロボットの設置（42.5%）」、「みかんの木を設置する（38.0%）」、「みかんの形の椅子を設置する（35.5%）」が上位を占めた。
- ・松山空港でおもてなしを行うのに最も適しているキャラクターとしては、「みきゃん」が88.5%と最も多い結果であった。

【松山空港の航空路線について】

- ・松山空港の国内路線について認知度のアンケートを行った結果、認知度の低かった路線は「鹿児島（41.0%）」、「中部（29.0%）」であり、全ての路線を把握していた方は34.8%であった。
- ・新規に就航を希望する路線としては「新千歳（55.5%）」が最も多く、次いで「関西（17.5%）」、「仙台（10.0%）」であった。
- ・松山空港に就航しているLCC（松山ー成田線）については、認知度は68.0%であったが、実際にLCCの航空券を購入したことがある方は29.0%であり、「行きたい路線が無い」という意見も26.3%あった。

【その他】

- ・松山空港の利用促進に関するその他のアンケート結果として、乗継割引の認知度については、65.0%が「知らない」と回答し、「知っている」と回答した方でも、過半数以上の方が利用したことが無いとの回答であった。
- ・国内旅行をする際に価格（交通費）と移動時間ではどちらを優先するかについては、「移動時間が長くても価格は安い方が良い（55.8%）」の回答が僅かに多い結果であり、国内旅行をする際の情報収集手段としては、「インターネット」からの収集が85%と最も多く（SNSは6.8%）、「航空会社のHPから情報を収集する」が32.0%、「旅行会社のHPから情報を収集する」が27.0%との結果であった。